

GO FLY

新北島中学校
学年通信 No48

2020.08.27. 発行



編；Yくん、突然ですが問題です。

Y；何ですか、急に・・・こんなところで問題を出して、恥をかかせようという魂胆ですか？

編；イヤイヤ、そんなことはない。ちょっと確かめてみたかったのじゃ。

きみは「けいじ」という漢字が書けるかな。犯罪の捜査や犯人の逮捕を仕事とする、あの「けいじ」のことだ。

Y；編集長！バカにしていけませんよ。そんなの書けるに決まってるじゃないですか。

編；よからう！では第2問。つぎは少しハードルが高いぞ。「けいさつ」は書けるかな？。

Y；簡単ですよ、ほら。

編；では、最後に第3問、これはかなりのハイレベルだ。「さぎ」という漢字が書けるかな？

たくみにいつわって金品をだまし取ったり、相手に損害を与えてたりする、あの「さぎ」のことだ。

Y；う～ん、これはちょっとむずかしい。

編；よし、では正解じや。「けいじ」は【刑事】 「けいさつ」は【警察】

「さぎ」は【詐欺】と書く。みんなできたかな？

Y；編集長、なんでこんなこと聞くんですか。

編；じつは・・・

東京都府中市で事件がおきた。21歳の男が、90歳の男性からキャッシュカードをだまし取るという事件がおきた。もちろん21歳の男はすぐに逮捕された。

男の正体が見破られたきっかけは、漢字だったそうだ。

Y；漢字・・・□☆△＞？・・・どういうことですか？

編；男は刑事のふりをしていたらしいが、連絡先として渡してきたメモは誤字だらけ。

「刑事」は「形事」・・・「警察」は「経察」と書いたそだから驚きだ。

「特殊詐欺防犯係」の「詐欺」という字も書けなかつたらしい。

Y；へエ～ そんなアホなヤツもいるんですね。

編；ちょっとまった。キミも「さぎ」は書けなかつたじゃないか！

Y；それはそうですけど・・・でもボクはキャッシュカードをだまし取ったりしませんよ。

編；あたりまえだ！。そんなことを言っているのではない。社会生活を営むうえで常識となる漢字は、書けなければ何もできないということがいいたいのだ。犯罪をすすめているわけではないが、泥棒ひとつをするにしても、漢字が書けなければいけないということなのじや。90歳の男性は不審に思って通報したというが、それはそうだろう。自分の職業や肩書をきちんと書けない人などいない。90歳の眼力は確かだということだ。

Y；なるほど、何をするにしても知識は必要ですね。

妙な人間が訪ねてきたら、まずは漢字の書き取りテストをやらさなければ・・・

